

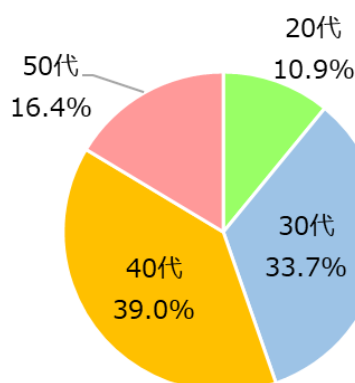
《調査報告》 将来のキャリアに関する意識調査(WEB アンケート)

調査のねらい	自社の未来を担うリーダーとして活躍を期待されている九州生産性大学経営講座の受講者を対象に、将来のキャリアに関する意識調査を実施した。 今回は、仕事でのキャリアを考える際、“自己実現”や“周りに認められる”という“承認欲求”という点で大きな要因の1つとなる「出世(昇進)」について設問を設けた。
調査対象	九州生産性大学経営講座受講者 517名 (トップを囲む懇談会・戦略的データ活用基本コースを除く)
調査期間・方法	各コースとも7月講座時に実施 QRコードよりWEB 回答(1人1回答)
回答数	404人 (回答率78.1%)
調査項目	<p>〈これからのキャリアについて〉</p> <p>Q1 現在のあなたのキャリアの満足度は何割？</p> <p>Q2 今後、今の職場でもっと出世(昇進)したいですか？</p> <p>Q3-1 Q2で「出世(昇進)したい」と回答した方へ 「出世(昇進)したい」と思う理由は？(複数選択可)</p> <p>Q3-2 Q2で「出世(昇進)したくない」「どちらともいえない」と回答した方へ 「出世(昇進)したい」と思わない理由は？(複数選択可)</p> <p>〈思い描くキャリア実現に向けて〉</p> <p>Q4 将来、今の会社であなたが描く未来(出世やスペシャリスト)に向けたキャリアを思い通りに積めていると思いますか？</p> <p>Q5 “Q4の質問”について、そう思う理由(選択した理由)を教えてください。(自由筆記)</p> <p>〈さらにその先のキャリアについて〉</p> <p>Q6 将来(今後)、第一線で活躍しているあなたの役割や仕事が若手に移った後、あなたはどんな働き方(キャリアの積み方)をしていると思いますか？</p> <p>Q7 自分が望むキャリアを歩むために、自身や組織に必要なと思うものは何ですか？(自由筆記)</p>

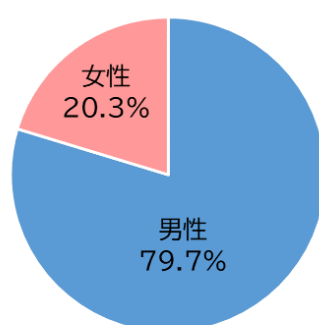
「今の職場でもっと出世(昇進)したい」人は48.0%。ただし男女で比較すると割合は約2倍の差。また、「今の職場で自身が描く未来(出世やスペシャリスト)に向けたキャリアを思い通りに積めている」と感じている人は全体で63.5%となったが、男女で比較すると差が出る結果に。

【回答者区分】

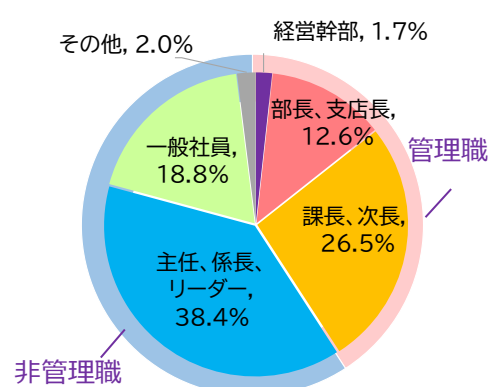
(1) 年齢(年代別)



(2) 性別(男女比)



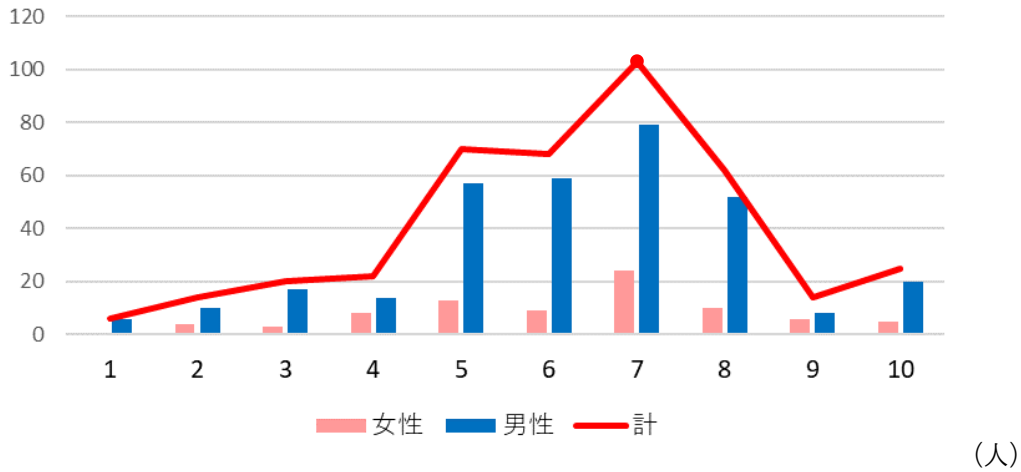
(3) 現在のポジション



Q1. 現在のあなたのキャリアの満足度は何割？

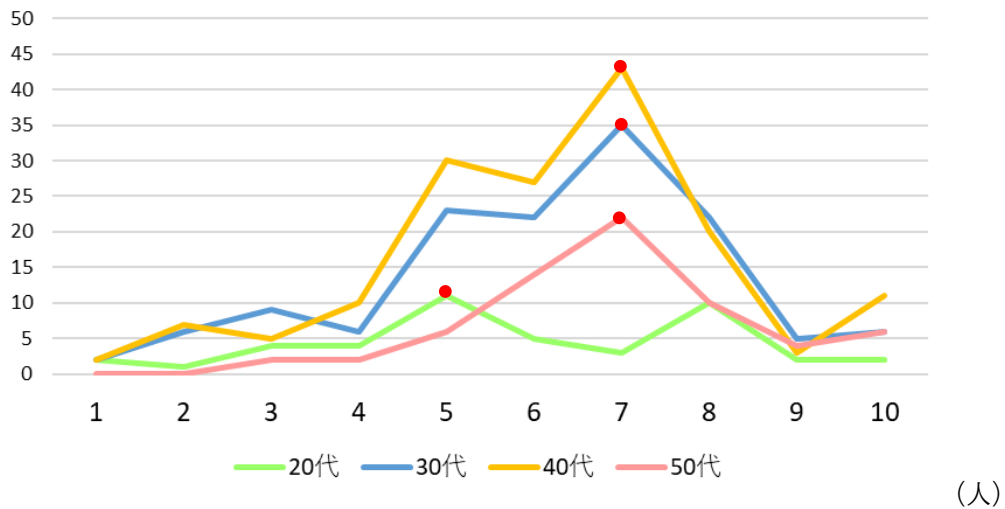
満足度を10段階で尋ねたところ、男女ともに満足度「7」の回答が一番多かった。
 満足度「10」に 25 人いる一方、満足度「1」にも6人いた。「1」回答の6人の内訳を見ると、全員男性で、年代別で見ると 20代、30代、40代に2人ずつ、現在のポジション別で見ると全員が非管理職（課長未満）であった。
 また、年代別で見ると、30代以上は「7」が一番高かったが、20代は「5」が一番高い回答となった。

【全体・男女比】



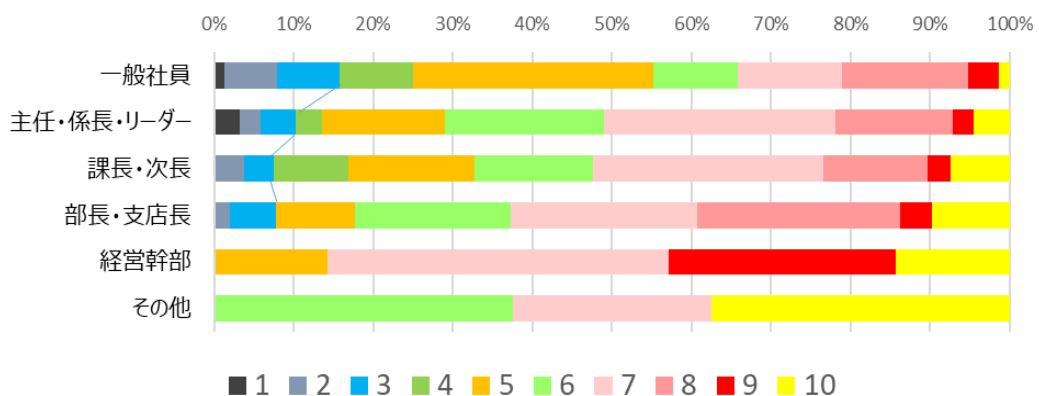
(人)

【全体・年代別比較】



(人)

【現在のポジション別比較】

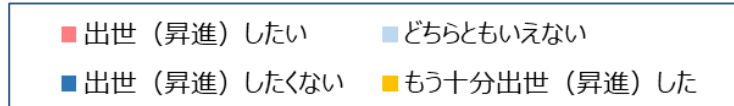


Q2. 今後、今の職場でもっと出世(昇進)したいですか？

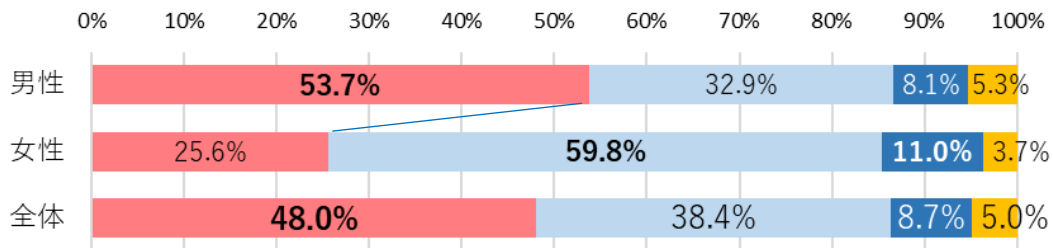
全体で 48.0%の人が「出世(昇進)したい」と考えているが、男女で比較すると、男性 53.7%に対して女性は 25.6%と約半分の割合となっており、男女の意識の差がうかがえる結果となった。

年代別で見ると、20代~40代まで 50%を超える人が「出世(昇進)したい」と考えていることがわかった。

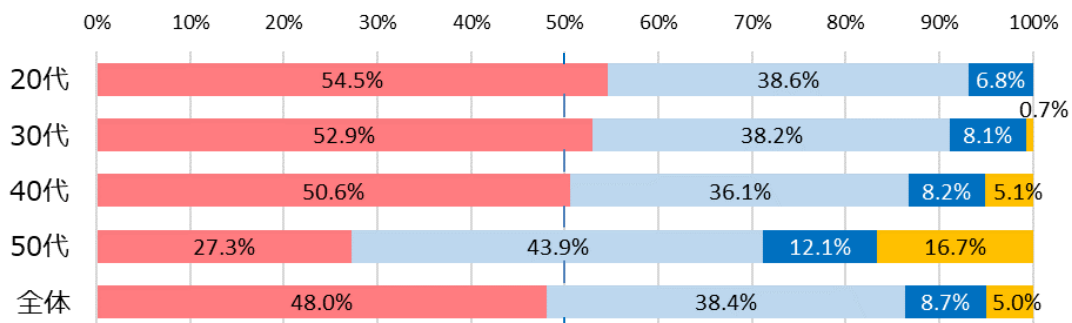
Q1の現在のキャリア満足度別で見ると、「出世(昇進)したくない」と回答した人は、満足度「9、10」の高満足度の人以外(満足度1~8)、差はあるものの一定数いることがわかった。



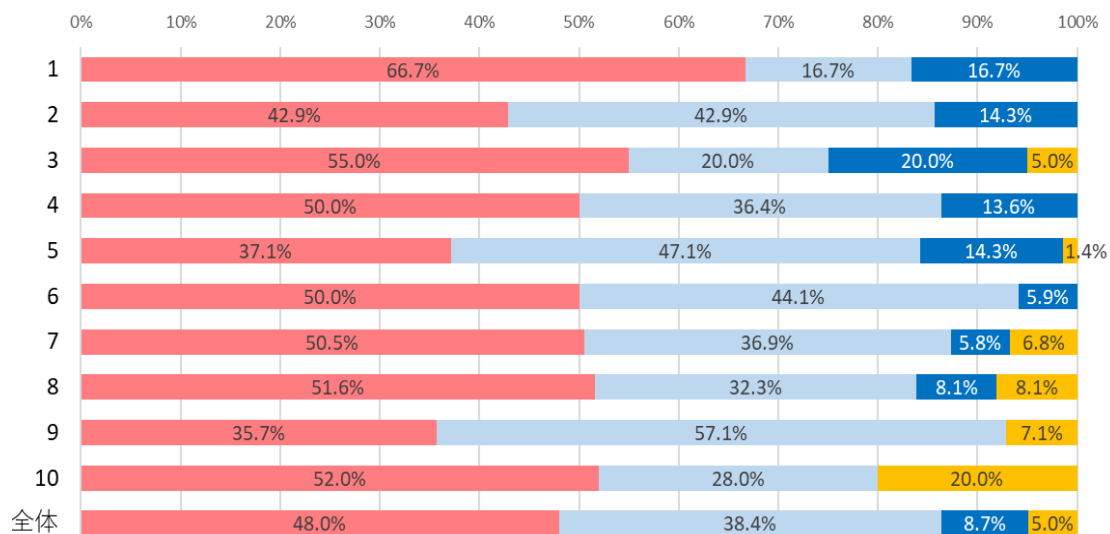
【全体・男女比】



【全体・年代別】

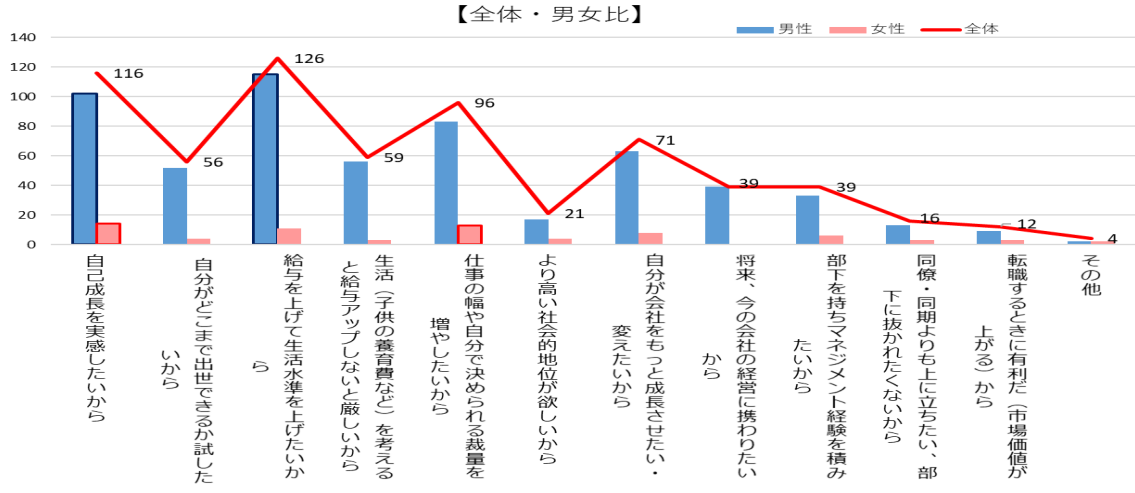


【キャリア満足度別比較】



Q3-1 Q2で「出世(昇進)したい」と回答した方へ
「出世(昇進)したい」と思う理由は？（複数選択可）

全体で見ると、1位「給与を上げて生活水準を上げたいから」、2位「自己成長を実感したいから」、3位「仕事の幅や自分で決められる裁量を増やしたいから」の順となっている。
男女別で見ると、「給与を上げて生活水準を上げたいから」が男性1位に対し女性3位と違いはあるものの、上位3つの項目は同じ結果となった。また、女性で「将来、今の会社の経営に携わりたいから」を選んだ人はいなかった。

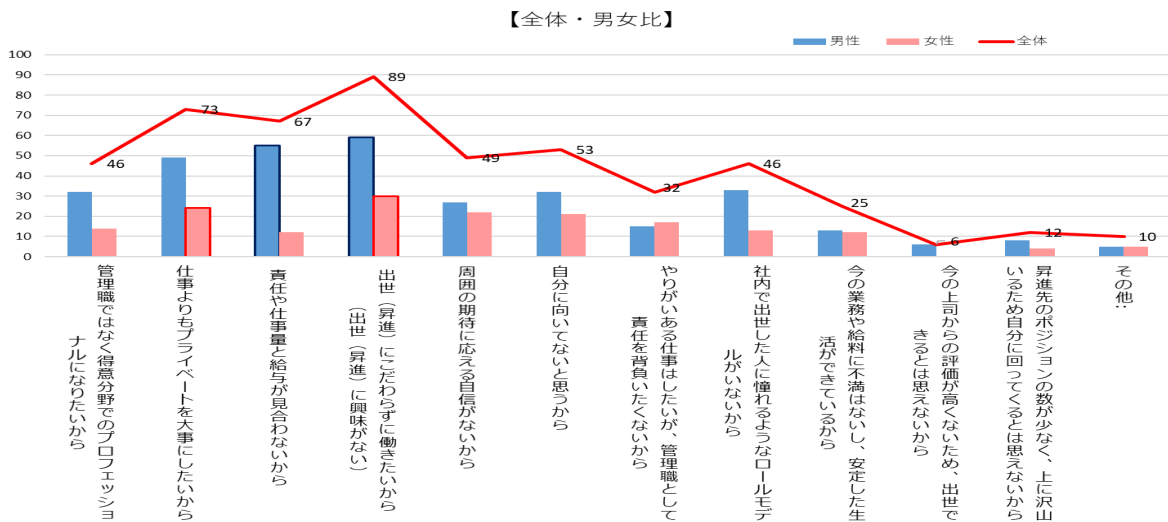


(人)

	1位	2位	3位
男性	給与を上げて生活水準を上げたいから	自己成長を実感したいから	仕事の幅や自分で決められる裁量を増やしたいから
女性	自己成長を実感したいから	仕事の幅や自分で決められる裁量を増やしたいから	給与を上げ生活水準を上げたいから

Q3-2 Q2で「出世(昇進)したくない」「どちらともいえない」と回答した方へ
「出世(昇進)したい」と思わない理由は？（複数選択可）

全体で見ると、1位「出世(昇進)にこだわらずに働きたいから(出世(昇進)に興味がない)」、2位「仕事よりもプライベートを大事にしたいから」となっている。
男女別で見ると、男性は2位に「責任や仕事量と給与が見合わないから」が、女性の3位に「周囲の期待に応える自信がないから」がきている。

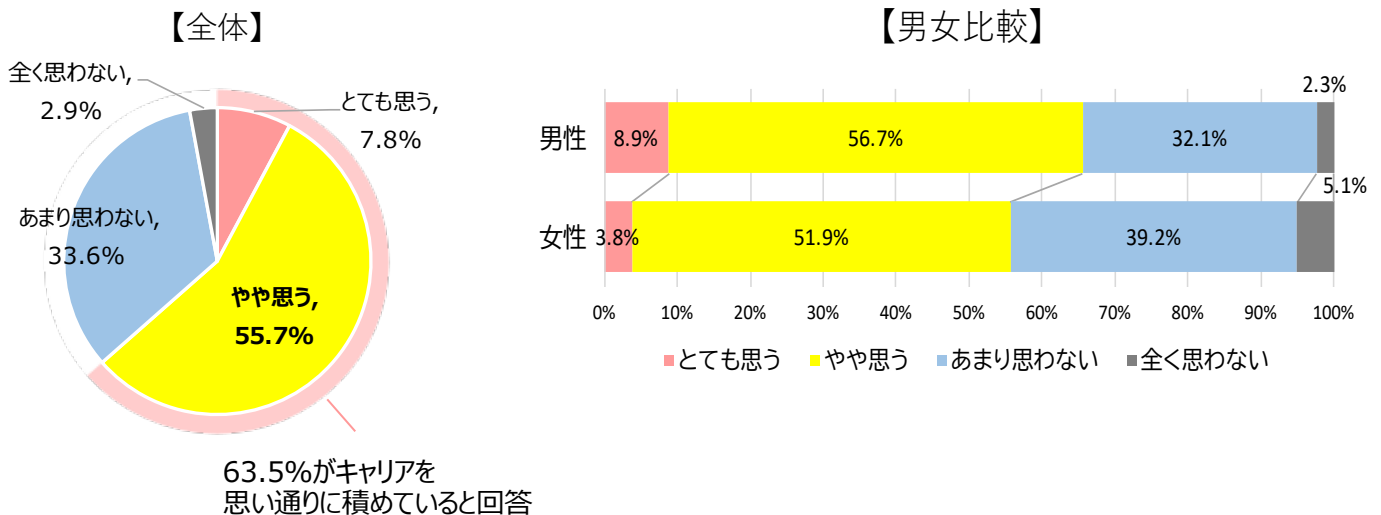


(人)

	1位	2位	3位
男性	出世(昇進)にこだわらずに働きたいから(出世(昇進)に興味がない)	責任や仕事量と給与が見合わないから	仕事よりもプライベートを大事にしたいから
女性	出世(昇進)にこだわらずに働きたいから(出世(昇進)に興味がない)	仕事よりもプライベートを大事にしたいから	周囲の期待に応える自信がないから

Q4. 将来、今の会社であなたが描く未来(出世やスペシャリスト)に向けたキャリアを思い通りに積めていると思いますか？

全体で見ると、「やや思う」が55.7%で一番高く、次いで「あまり思わない」が33.6%という結果になった。「とても思う」「やや思う」と回答した、キャリアを積めていると感じている人は63.5%、全体の6割を超えている。ただし、男女で比較すると、「とても思う」は男性が8.9%に対し女性は3.8%にとどまる一方、「全く思わない」は男性が2.3%に対し女性は5.1%と、男女の差が見える結果となった。また、「全く思わない」と回答した人をQ1のキャリアの満足度別に見ると、4と9以外のほぼ全階層に存在しており、今のキャリアの満足度とは関係なく一定数の方がいることが見えた。



Q5. “Q4 の質問”について、そう思う理由(選択した理由)を教えてください。(自由筆記)

思い通りにキャリアを積めていると感じている方は、自身にあった配属、また会社から自分にあった育成をもらっている、評価されているという認識があることがうかがえる。一方、思い通りにキャリアを積めていないと感じている方は、自身が望む配置ではないこと、将来のキャリアが明確でないことがうかがえた。以下、コメントの中から抜粋して紹介する。

(とても思う、やや思うと回答した方)

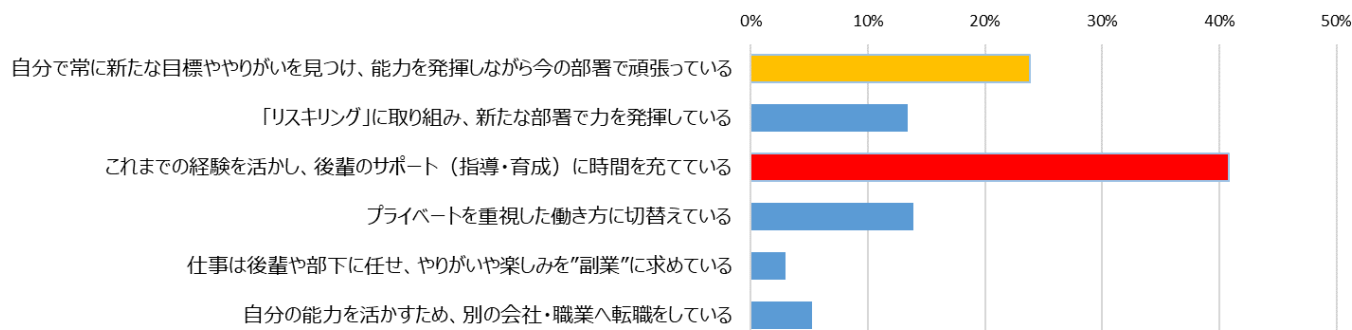
- ・上司を含む周囲の方々が期待して頂いて育てようとしていただいているため
- ・キャリアプランに基づく希望通りの異動をしているから
- ・技術者として極めたかったが、最近では与えられた業務を楽しめるようになった
- ・ある程度勉強しながら責任を果たせていると思うから
- ・組織の中で今後必要となる施策の部署への配属されているため
- ・自分が今の年齢で支店長になるとは思っていなかったから
- ・今回の受講も、将来に向けた自分の方向性と合致しており、その為に会社が厳選してくれたことから
- ・この研修を含め、他にも様々な勉強をさせていただき、チャレンジさせてもらえる環境をいただいているから

(あまり思わない、全く思わないと回答した方)

- ・キャリアパスやロールモデルが不明確で、理想の成長過程が具体的にイメージ出来ない
- ・個人の希望と会社が求めるものに相違があるため
- ・人事異動で望む部署に異動できないから
- ・やりたい気持ちはあるが複数の業務を兼任し、できていない現実があるため。また、今後改善していかないといけないと思うが、変えていける自信がないため
- ・将来のありたい姿が明確でなく模索中のため
- ・試験などもないので明確なキャリアの未来が分からない

Q6. 将来(今後)、第一線で活躍しているあなたの役割や仕事が若手に移った後、あなたはどんな働き方(キャリアの積み方)をしていると思いますか？

1位は「これまでの経験を活かし、後輩のサポート(指導・育成)に時間を充てている」、2位は「自分で常に新たな目標ややりがいを見つけ、能力を発揮しながら今の部署で頑張っている」となった。将来、転職や別の場所に活躍の場を見出すのではなく、今の会社・職場で貢献する働き方を描いている方が多い結果となった。



Q7. 自分が望むキャリアを歩むために、自身や組織に必要なと思うものは何ですか？(自由筆記)

自身に必要なと思うワードには、「マネジメント力」や「向上心」、「コミュニケーション力」、「自己研鑽」、「キャリアの明確化」などを挙げる人が多かった。
組織に必要なと思うワードには、「働き方の選択肢」、「成長できる人材育成計画」、「チャレンジできる職場環境」、「適材適所」、「適正な評価」等のワードが多く並んだ。

以上が今回のキャリアに関する WEB アンケートの結果となった。

九州生産性大学経営講座受講生にとって、受講の半年間が、今後求められる能力を習得する機会、これからのキャリアを考える良い機会となるよう、実務的なカリキュラムの提供はもちろん、情報交換・交流の場も引き続き積極的に設けていきたい。